

施策	13	新しい力による新しい産業づくり	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり		
施策主管課	産業振興課	課長名	北澤俊規	内線	3510	政策担当部長名	産業経済部長 高田 修
施策関係課名	産業振興課、工業課、農業課、観光課、商業・市街地活性化課、金融政策課						
重点施策	関連計画	地域経済活性化プログラム、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想、飯田市農業振興地域整備計画、飯田市酪農・肉用牛生産近代化計画、名勝天龍峡保存管理計画、名勝天龍峡整備計画、飯田市工業用地選定方針、飯田市森林整備計画					

1 施策の目的

目的	対象	事業者、従業員
	意図	多様な連携により新たな経済活動を創出する 企業立地、起業・就職できる

2 現状把握

(1)対象指標、成果指標の状況

対象指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	見込み 28年度
工業統計による事業所数	所	338	323	345	316	304 未確定	未確定	330
事業所従業員数（工業統計）	人	10,172	10,560	10,224	10,312.0	9,978 未確定	未確定	10,100
農家戸数(5年に1回公表)	人	5,349	5,021	-	-	-	-	4,800
地域産業	種	6	6	6	6	6	6	6
成果指標 成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
新規就業者数(新卒のみ)	人	567	581	632	696	664	675	720 700
新規立地・拡張企業の件数 (工業課で補助金を出したもの)	件	4	2	3	7	4	9	4
U,Iターン者数 飯田下伊那 (キャリアデザイン室取扱件数)	人	50 (47)	29 (60)	- (45)	- (52)	- (50)	- (51)	130 (80)
開発された観光プログラム数(累計)	個	195	201	206	219	227	230	250
既存事業者の消費額(観光) 飯田下伊那	億円	113	102	103	98	102 未確定	未確定	129
海外チャレンジ事業による新規商談成立商品数(累計)	品	49	57	67	74	79	80	92 25
粗付加価値額(工業統計) 飯田下伊那	億円	1,212	1,289	1,304	1,458	1,463 未確定	未確定	1,391
新規就農者数	人	35	24	10	8	12	11	20

(2)成果向上に向けての役割分担

主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度 実績	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
行政	市(国・県) 人材誘導事業(総合窓口、情報発信など) 企業立地誘導 起業支援 事業者と連携した取り組み(情報提供) 公共施設への地元産品の積極的活用とPR	情報発信数(結いターンプログラムアクセス数)	26,759	35,498	23,048	31,035	35,000
		人材誘導窓口対応件数(結いターン室資料)	131	158	140	118	250
		就職ガイダンス参加企業数(参加者数)(累計:ハローワーク等資料から集計)	41 (217)	49 (241)	44 (146)	55 (163)	50 (300)
		企業訪問数(工業課資料) 起業支援事業者数(商業・市街地活性化課、金融政策課資料)	130	141	206	147	120
			30	18	24	59	45
		起業講座等数(参加者数)(商業・市街地活性化課、金融政策課資料)	20 (351)	18 (355)	11 (303)	15 (469)	3 (50)
		補助制度等の利用者数(商業・市街地活性化課、金融政策課資料)	8	10	14	26	10

主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項
市民等	個人	子育て世代が飯田へ帰ってくるように働きかける。飯田の情報を伝える	飯田に戻った人数 情報発信した回数	・体験教育旅行、産地ツアーの受け入れは、(株)南信州観光公社が中心となり、多くの団体と連携し実施している。 ・平成27年度は7年に1度の元善光寺御開帳が行われることから、飯田観光協会の「元善光寺御開帳プロジェクト」を支援し、一点通過型から市内周遊滞在型観光へ誘導する仕組みづくりを行なった。
	事業者	他の事業者との連携を進める 起業、事業拡大 採用活動	他の事業者との連携事業数 起業、事業拡大に向けた取り組み数 事業者の求人数	
	経済団体 (観光公社、商工会議所、農協等)	事業者の連携促進 起業、就業の援助、情報提供 人材の紹介 事業者と連携した取り組み、支援	連携事業に取り組んだ数 人材等の紹介数 起業等の講座数 研究会等の開催数 協会等新規加入者数 観光協会等新規加入者数(ヒアリング調査等)	

### 3 平成26年度の評価結果

(1)実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

計画どおり取り組めた
おおむね計画どおり
あまり取り組めなかった
達成できなかった

(2)施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

進んだ
ある程度進んだ
あまり進まなかった
進まなかった

### 4 平成26年度を取組概要と評価(成果や課題、その要因)

#### 【施策全体の評価】

・「多様な連携により新たな経済活動を創出する」「企業立地、起業・就職できる」を意図として、新しい産業づくりや人材誘導に取り組んできた。特に航空宇宙産業クラスター拠点工場の整備により産業集積に向けた環境を整えた。企業誘致の継続と他の新産業の創出に向けての取り組みも具体化してきた。施策全体としては、関係機関と連携しての起業の支援や人材誘導事業などの取り組みを積極的にい行い成果も出てきていることから、進んだと評価する。

#### 【事務事業群テーマ別の評価】

##### < 起業の支援 >

・飯田商工会議所と協働し、中心市街地の商栄会の協力により、商店街の空店舗状況の調査を実施。今後の実践に繋げていく研究が必要である。

・地域経済の活性化には新規起業や新事業創出が不可欠であり、長野県及び商議所と連携し、低利融資である県の「創業支援資金」の利用を推進したほか、「チャレンジ起業相談室」をはじめとする各種の起業支援策を積極的に展開した。

・起業家ビジネスプランコンペティションを初実施。7人の起業家から事業計画の提案を受け、審査会において審査をし、助言等を行ったが、審査会が創業支援補助金の交付を適当と認める熟度に達した案件は生まれなかった。

##### < 新製品・新分野への挑戦の支援 >

・航空宇宙産業のクラスター形成については、地域における技術的課題である「特殊工程」に対し、年度内に航空宇宙産業クラスター拠点工場(熱処理工場棟及び表面処理工場棟)の整備、「アジア 1航空宇宙産業クラスター形成特区」に参入するなど集積に向けた環境を整えることができたが、一貫生産体制の構築にはクラスターをけん引する中核企業の育成が課題となっている。。そのほか、人材育成支援としては「品質管理・生産技術」に対し、専門人材活用によるOJT研修を実施した。

・その他の新産業の創出としてメディカルバイオクラスターについては、医療機器系・食品系の2つの分科会による情報収集を継続的に実施した。医療・介護の現場のニーズを把握しながら、それぞれの課題を具体的な取り組みにつなげていくことが課題である。また、伝統地場産業については、飯田市産業親善大使を活用して、水引・菓子等の知名度向上に努めた。

##### < 企業・人材の誘導 >

・「結いターンキャリアデザイン室」では人材誘導事業を実施し、無料職業紹介所として職業をあっせんによりUIターンを支援するなど成果は上がっている。しかし学生の就職活動におけるミスマッチ、地域産業における人材の不足等の課題がある。

・継続案件や成長産業である航空宇宙産業をはじめ、環境エネルギー、健康医療及び食品分野の産業集積化に向けて誘致活動を展開するとともに、多様化する立地形態に応じた支援制度を強化するため、工場適地の支援の拡充の他、アジア 1航空宇宙産業クラスター形成特区指定に伴い「航空宇宙産業」に対する支援、さらには、空き工場の活用に関する支援について企業立地(振興)促進事業補助金の要綱改正を行った。

##### < 連携による新価値づくり >

・飯田型ツーリズムは都市部の学校での人気の高まりにより、全国的に体験教育旅行を受け入れる自治体が増加してきていることから、取扱事業者間の顧客獲得競争が激化してきており、(株)南信州観光公社では受注が減少し苦戦を余儀なくされている。

・体験修学旅行を実施している学校側の多種多様なニーズにできるだけ添えるような柔軟な受け入れ体制の検討を行うとともに、観光協会と連携して「観光プランづくりプロジェクト」を立ち上げて、新規顧客獲得に向けた新しい観光プランの開発への検討を行った。

・(株)南信州観光公社に対しては、5つの観光プランを提案し、その内2プランが商品化されて実際に催行することができた。

##### < 知と産業の集積拠点整備 >

・(公財)南信州・飯田産業センターが中心となって、航空宇宙産業・健康医療産業・食品産業などのクラスター活動が成果を上げてきている。しかし、リニア時代を見据えた時に、当地域の産業がさらに持続し発展するためには、下請け型から研究開発型へと転換を図ることで、地域の企業がさらに成長し、付加価値を高め、他地域との競争力を強めていくことが必要となってきている。

・南信州広域連合の検討による「知の集積拠点」整備構想を受けて、南信州・飯田産業センターを旧飯田工業高校へ移転・機能拡充する構想が示され、産業センターの理事会において方向性を了承した。その後、南信州広域連合・南信州広域連合議会・産業センターの3者の連名で阿部知事への要望を行った。

## 5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

### < 起業の支援 >

- ・空店舗情報を定期的に把握するとともに、マッチングなど空店舗対策業務を商工会議所を基幹として、商店街等の協力連携による対応の仕組みづくりを研究する。
- ・新規創業・新事業創出に加え、円滑な事業承継の重要性に鑑み、金融機関、商工会議所等と連携しながら、伊那谷全体を対象として飯田市での創業を促すためのセミナー等の起業相談及び起業支援策を展開していく。
- ・創業セミナー受講～起業家ビジネスプランコンペティション応募～創業後の金融機関からの資金調達までの一連の流れが円滑に行われる制度構築を進めるために、金融会議をはじめとする金融機関との勉強会及び連絡会議を重ね、早い段階から実現性の高いビジネスプランの策定支援と創業後の安定した資金調達環境の創出を行う。

### < 新製品・新分野への挑戦の支援 >

- ・航空宇宙産業における生産技術・生産管理能力の強化や一貫生産体制構築のためには、中核企業の育成が効果的であり、専門家等の配置による継続的な支援について取り組んでいく。くわえて一貫生産体制の強化及び産業集積化に向けて、航空宇宙産業クラスター拠点工場へ特殊工程以外の基礎分析機器の導入や地域企業間OJT研修による高度人材育成等の支援を実施する。
- ・医療機器系や食品系産業においては、専門コーディネーターやアドバイザーを活用しながら現場のニーズを把握することや介護食品の研究を進める活動の支援をする。

### < 企業・人材の誘導 >

- ・「結いターンキャリアデザイン室」が引き続き窓口となって地域産業が求める人材確保を進める。
- ・地方創生に関する飯田市版総合戦略に基づく施策や他部課と連携した人材誘導策についても検討する。
- ・成長産業である航空宇宙、環境エネルギー、健康医療及び食品分野の産業集積化の推進などに重点をおき、併せて次世代交通網の整備を背景に長期的な視点で航空宇宙産業をはじめとする次世代産業の集積化に寄与する企業の誘致を戦略的に展開する。

### < 連携による新価値づくり >

- ・飯田型ツーリズムによる体験教育旅行の新規顧客獲得のため(株)南信州観光公社の営業活動に観光課職員も同行し支援する。また、中国・香港・台湾からの訪日教育旅行の誘致、その他大人を対象とした体験旅行や企業向け体験研修の開発を進め、「魅力あるほんもの体験」を提供することで他との差別化を図り、同業者との顧客獲得競争に勝ち抜いていく。
- ・飯田観光協会と連携して地域発の観光プランの開発に継続的に取り組み、(株)南信州観光公社で販売できる仕組みを造成していく。

### < 知と産業の集積拠点整備 >

- ・知と産業の集積拠点において中核となる、(公財)南信州・飯田産業センターの移転・機能拡充については、その必要性について産業界をはじめ関係機関・団体に説明するとともに、移転後はどのような機能を拡充していったらよいかについて意見のとりまとめを行う。
- ・意見集約後、具体的な活用案についてまとめ、南信州広域連合、長野県へ示して了承いただく。9月に開催するシンポジウムにおいて計画案を示し、広く市民に周知する。

# 目標 施策1-3

対象  
事業者、従業員

意図  
多様な連携により新たな  
経済活動を創出する  
企業立地、起業・就職できる

## 成果指標

事業所数

新規就業者数  
(新卒のみ)

新規立地・拡  
張企業の件数

海外チャレンジ事業  
による地場産品の新規  
商談成立商品数

U、Iターン者数

新規就農者数

既存事業者の観光消費額

開発された観光  
プログラム数

農業生産額

起業の支援

新製品・新分野への  
挑戦の支援

企業・人材の誘導

連携による新価値づくり

地域内経済循環の促進

## 事務事業

にぎわい創出店舗活用事業  
商業経営支援事業  
起業家育成支援事業

地域金融人材育成事業  
ものづくり製品開発等支援事業(補助金)  
三遠南信連携推進事業 新産業クラスター事業  
農村女性活力増進事業

首都圏等交流活動支援事業 産業活性化懇話会開催事業  
企業立地促進事業(補助金) 企業誘致推進事業  
エコバレープロジェクト推進事業  
人材誘導事業 南信州グリーン・ツーリズム推進事業  
農業担い手誘致事業 農業法人誘致・設立促進事業  
新規就農者支援事業 次世代を担う産業人材育成事業(農業)

観光まつり振興事業 飯田観光協会運営事業  
体験教育旅行を含む体験型観光推進事業  
エコツーリズム推進事業 まちなか誘客促進事業  
遠山郷観光戦略プロジェクト事業 自転車のまちづくり事業  
ツーリズム連携による地域農産物ファン創出事業  
地域産品ブランド化事業 農業新分野創出・6次産業化推進事業  
広域連携による観光誘客事業 飯田観光協会との連携事業

域産域消 公共施設等推進事業 域産域消 事業者活動支援事業  
食農教育推進事業